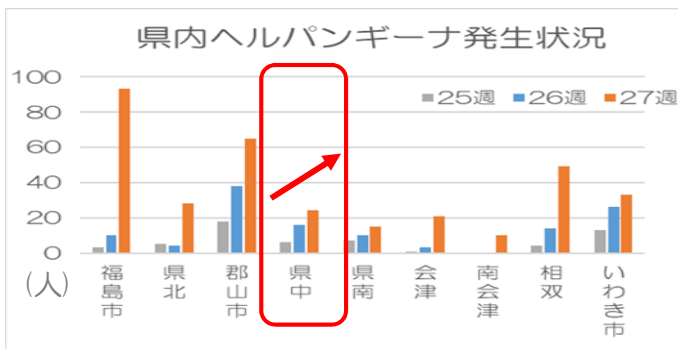


感染症の流行状況

県中地域では現在、ヘルパンギーナが流行、咽頭結膜炎、A型群溶血性レンサ球菌咽頭炎が小流行しています！

ヘルパンギーナは全国的にも流行が確認されていますので、注意が必要です！

感染対策などは、裏面に記載しています！



出典 感染症発生動向調査（第27週分：R5.7.3～R5.7.9）

肝炎ウイルス検査を受けたことはありますか？

7月28日は世界肝炎デー・日本肝炎デー 7月24日～7月30日は肝炎週間

肝炎は、ウイルスやアルコール、薬や化学物質などの原因で肝臓の細胞が壊れたり、その働きが損なわれたりする病気です。その中で、他の人に病気をうつしてしまう可能性があるものとして、『ウイルス肝炎』があります。

ウイルス肝炎は、国内最大級の感染症で、肝炎ウイルスに感染している人は日本人の約100人に1人とされています。

感染の心配がある方は、この機会にぜひ肝炎ウイルス検査を受けましょう！！

○ウイルス肝炎の種類・・・A型、B型、C型、D型、E型の5種類

○感染経路・・・

- ・A型、E型⇒ウイルスが含まれた海産物や豚や猪のレバーを十分に加熱しないまま食べたり、ウイルスがついた手をよく洗わないで食べ物を触ったりしてうつります。
- ・B型、C型、D型⇒血液や体液を通じてうつります。特に、B型、C型は慢性の肝臓病を引き起こす原因となります。

肝炎ウイルスに感染しても自覚症状がないことが多く、本人が気づかないうちに肝硬変や肝がんに移行することがあります。

保健所ではB型、C型肝炎ウイルス検査を実施しています！

<検査実施日> ※完全予約制

即日検査 毎月第2・4火曜日 9:00～11:15
⇒1時間程度で結果が判明します。

夜間検査 毎月第3火曜日 17:30～19:30
⇒2週間後に再度来所していただきます。



これからの季節に気を付けたい感染症を紹介します！

3大夏風邪にご注意を！！

ヘルパンギーナ

咳やくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染したり、水疱の内容物や便に排出されたウイルスが手などを介し、口や目などの粘膜に入って感染します。

○症状・・・突然の発熱、咽頭痛や咽頭発赤、口の中に水疱や発赤が現れます。
水疱は破れて痛みを伴います。

○治療・・・特別な治療はなく、症状に応じた対症療法が行われます。

○予防・・・予防接種はなく、手洗い、咳エチケットが有効です！

★高熱による倦怠感や口腔内の痛みなどから、食事や水分を十分にとれず、脱水になることもあります。一口ずつ、少量の水分摂取をしましょう！



咽頭結膜熱（プール熱）



感染力が非常に強く、咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスやウイルスが付着した手やタオルなどを介して感染します。プールでの感染があることから、「プール熱」とも呼ばれます。

○症状・・・発熱、咽頭炎、結膜炎、リンパ節の腫れ、腹痛、下痢など

○治療・・・特別な治療はなく、症状に応じた対症療法が行われます。

○予防・・・石けんと流水での手洗いやうがいを心がけましょう！タオルは個別にしましょう！

★高熱が長く（5日前後）続くことがあります。ほとんど自然に治ります。

しかし、吐き気、頭痛が強い時、咳が激しい時は早めに医療機関に相談しましょう！

手足口病

咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染したり、水疱の内容物や便に排出されたウイルスが手などを介し、口や目などの粘膜に入って感染します。

○症状・・・口の中、手、足を中心に出る水疱性の発疹、発熱（高熱ではない）、食欲不振、咽頭痛、重症化は稀です。

○治療・・・特別な治療はなく、症状に応じた対症療法が行われます。

○予防・・・予防接種はなく、手洗い咳エチケットが有効です。発疹が消えた後も、3~4週間は便にウイルスが排出されるため、手洗いを徹底しましょう。

★口の中に水疱ができ食事がとり難いため、柔らかく薄味の食事を工夫し、水分補給を心がけることが大切です！



県中保健福祉事務所感染症レターへのご意見や感想、質問等は下記までご連絡ください！

F A X : 0248-75-7825

E-Mail : kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp

バックナンバーは「県中保健福祉事務所」のホームページに掲載しています！

詳細は、

県中保健福祉事務所 感染症レター



で検索！

